

ものづくり連携支援事業 プロジェクトPRレポート

管理機関名：国立大学法人 秋田大学

プロジェクト名

学会連携による産業デザインに注目した医工連携ものづくり事業

事業の背景（地域の産業集積やグループの強み・特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

- ◇秋田県は2015年現在高齢化率が、全国1位かつ、全国で唯一30%を超える高齢化先進県であり、地域の限界集落化の加速や、一次・二次産業の次世代担い手の減少による生産力の低下に懸念。
- ◇また、医療環境の高度化による人口減の抑制と、次世代に向けた新たな産業の育成が課題となっており、これらの課題を同時かつ早急に解決しなければならない地域。
 - ⇒ 別視点で見ると、全国に先駆けた検討ができる唯一の地域。
- ◇国内医療機器の多くは海外産のため、日本人の体型・体格、医療・介護環境に適合するテーラーメイド型医療機器に対するニーズが高い。
 - ⇒ 秋田県内には古くから、地域の手医療機器メーカーとの結びつきによる製造技術が集積。

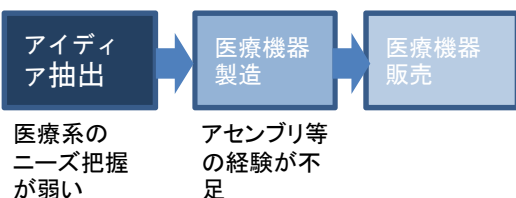
事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

- 本事業では以下の取組みを通じ、秋田県の地域医学系学会が持つ現場課題を速やか、かつシームレスに地域企業体につなぎ、「売れるデザイン」を意識した医療機器開発の加速化・確実化・に向けた、次世代型医療機器開発・販売アライアンスの構築を目指す。
- ▽秋田大学が中心となって、県内医学系学会の会員が持つ技術シーズおよびニーズを課題別に検討・精査し、地域企業にこれらの情報をつなげ、地域企業の連携体でアセンブリされた医工連携製品の提供が包括的に行える開発・販売体制を構築する。
- ▽現在秋田大学が指揮する県内医工連携ネットワークで検討している製品テーマ（「医療環境向上」、「ロボット型見守りシステム」、「介護現場用ロボット」など）について、医療現場のニーズを整理し、連携体によるものづくりの成功事例を複数作り出すシステムを確立する。
- ▽地域企業の医工連携の意識の向上と、薬機法や製販業許可、バリデーションに対応したものづくり提案体制の構築・製造技術の高度化を目指す。

連携・グループ化の目的・期待効果

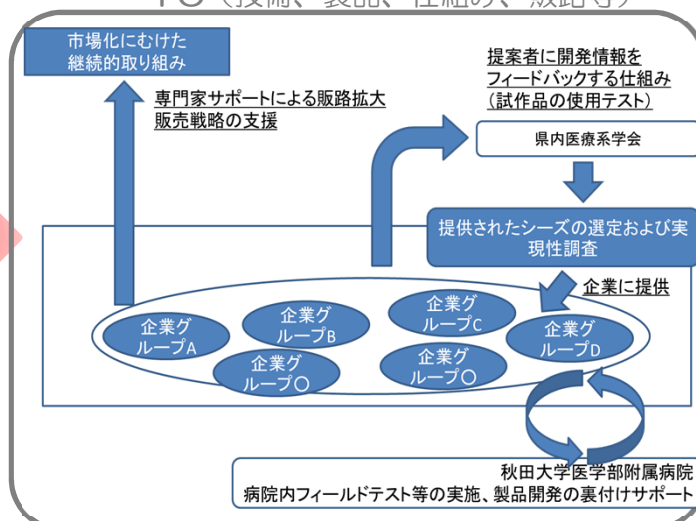
From（技術、製品、仕組み、販路等）

地域版医療機器製造における課題・ニーズ



新製品開発に向けた成功体験の提供と、地域連携スキームの構築による新しい提案が必要。

To（技術、製品、仕組み、販路等）



この事業実現のためのキーファクター

- ・医理工連携ものづくりネットワークによる市場探索、アクションプラン策定
- ・市場ニーズを踏まえたデザインに優れた医療・介護商品の開発
- ・技術シーズが活用できる適切なものづくり連携マッチング
- ・販社を含めた売れる医療・介護商品を実現する企業間の連携意識の醸成

コンソーシアム又はグループの構成

秋田大学医理工連携ものづくりネットワーク参画企業体

テーマ1 医療環境向上に向けたテーマ	テーマ2 ロボット型見守りシステムのテーマ	テーマ3 介護現場で活躍するロボットテーマ	テーマ4 医療技術者の取り組のテーマ
【設計・製作】 コア企業A (株)アキタ・アダマンド	【設計・製作】 コア企業B エーピーアイ(株)	【設計・製作】 コア企業C (株)三栄機械	【設計・製作】 コア企業D (株)カミテ
【部品製作】 連携企業A	【装置開発】 連携企業C	【装置開発】 連携企業E	【設計支援】 連携企業G
【装置製作】 連携企業B	【回路設計】 連携企業D	【情報管理設計】 連携企業F	【装置開発】 連携企業H

管理機関
国立大学法人秋田大学

専門家等の支援

- ★秋田大学
 - ・連携コーディネーターと協力し、事業化実現に向けたプロジェクトのマネジメントを推進
 - ・コンソーシアム構成企業の情報収集等を行う

- ★(公財)あきた企業活性化センター コーディネーター
- ★(公社)秋田県臨床工学技士会
- ★(株)あきぎんリサーチ&コンサルティング
- ★(株)秋田医科器械店

コンソーシアムの決意表明

秋田大学が持つ地域ネットワークと産業実現の力を活用して医理工連携による新産業・新技術の開発事例を作り上げます。